

第9期古賀市介護保険運営協議会（令和7年度第2回）

日時：令和7年10月16日（木）19時～
会場：サンコスモ古賀201・202研修室

1 開会

2 部長あいさつ

3 会長あいさつ

4 議事

（1）第9期介護保険事業計画における令和6年度実績

- ・第9期介護保険事業計画における令和6年度高齢者人口・認定者数・・・・・資料1
- ・介護サービスの利用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料2
- ・事業費の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料3
- ・介護保険事業計画（第9期）に記載した取組と目標に対する実績と評価・・・・資料4

（2）第10期介護保険事業計画策定のための高齢者等実態調査について

- ・第10期介護保険事業計画策定のための高齢者等実態調査について・・・・・資料5
- ・介護予防・日常生活圏域ニーズ調査・・・・・・・・・・・・・・・・・資料6
- ・介護実態調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料7

5 その他

- ・議事録について
- ・次回開催日程 1月15日（木）19時～

6 閉会

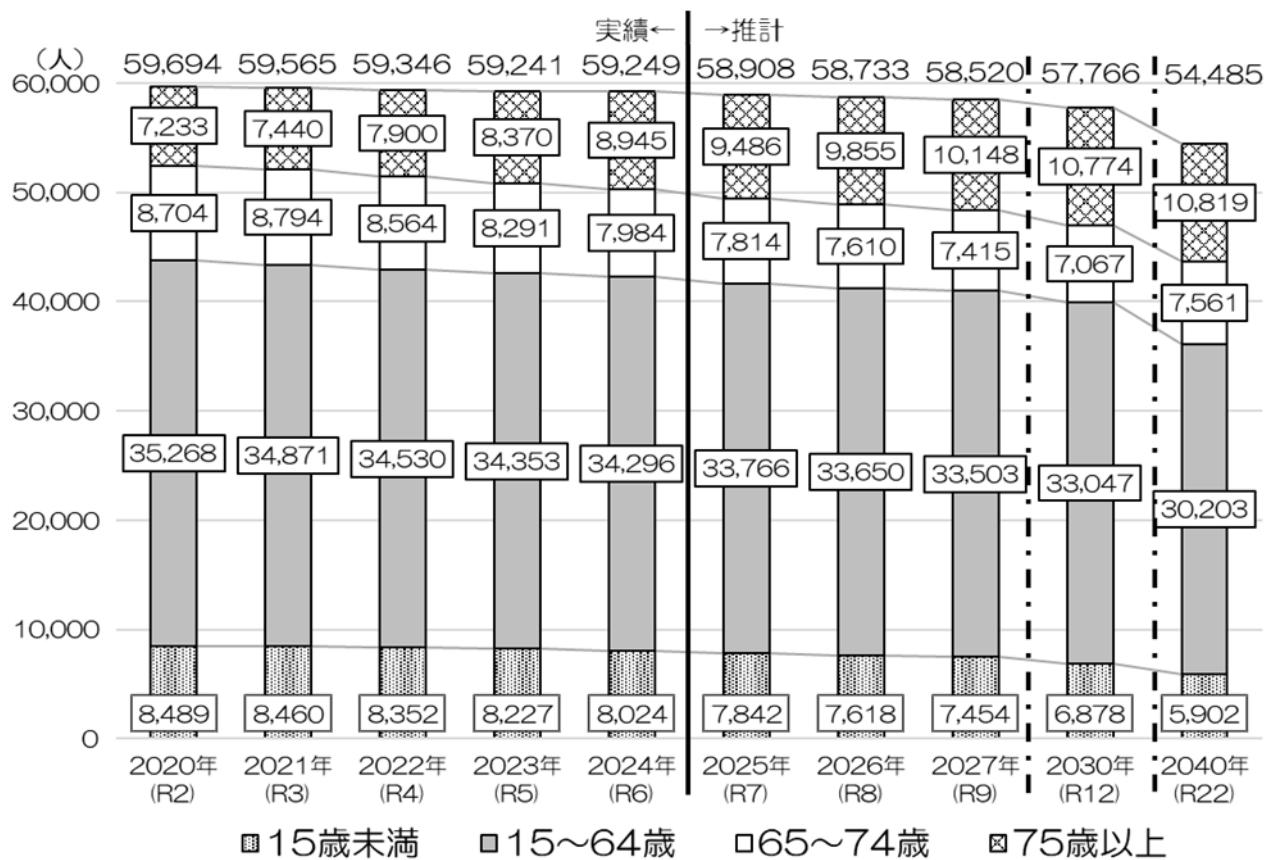
1. 高齢者人口

(図表1-1)古賀市の高齢者人口と高齢化率(各年9月末)

(単位:人)

	令和6年度		参考 令和5年度
	計画値	実績値	実績値
総人口	59,081	59,249	59,241
65歳以上人口	17,037	16,929	16,661
前期高齢者人口 (65-74歳)	7,987	7,984	8,291
後期高齢者人口 (75歳以上)	9,050	8,945	8,370
高齢化率 (高齢者人口/総人口)	28.8%	28.6%	28.1%
65-74歳	13.5%	13.5%	14.0%
75歳以上	15.3%	15.1%	14.1%

(図表1-2)古賀市の年齢区分別将来推計人口(各年9月末)



※ 人口実績値は、住民基本台帳(各年9月末現在)より引用。

※ 人口推計値は、コーホート要因法により推計。

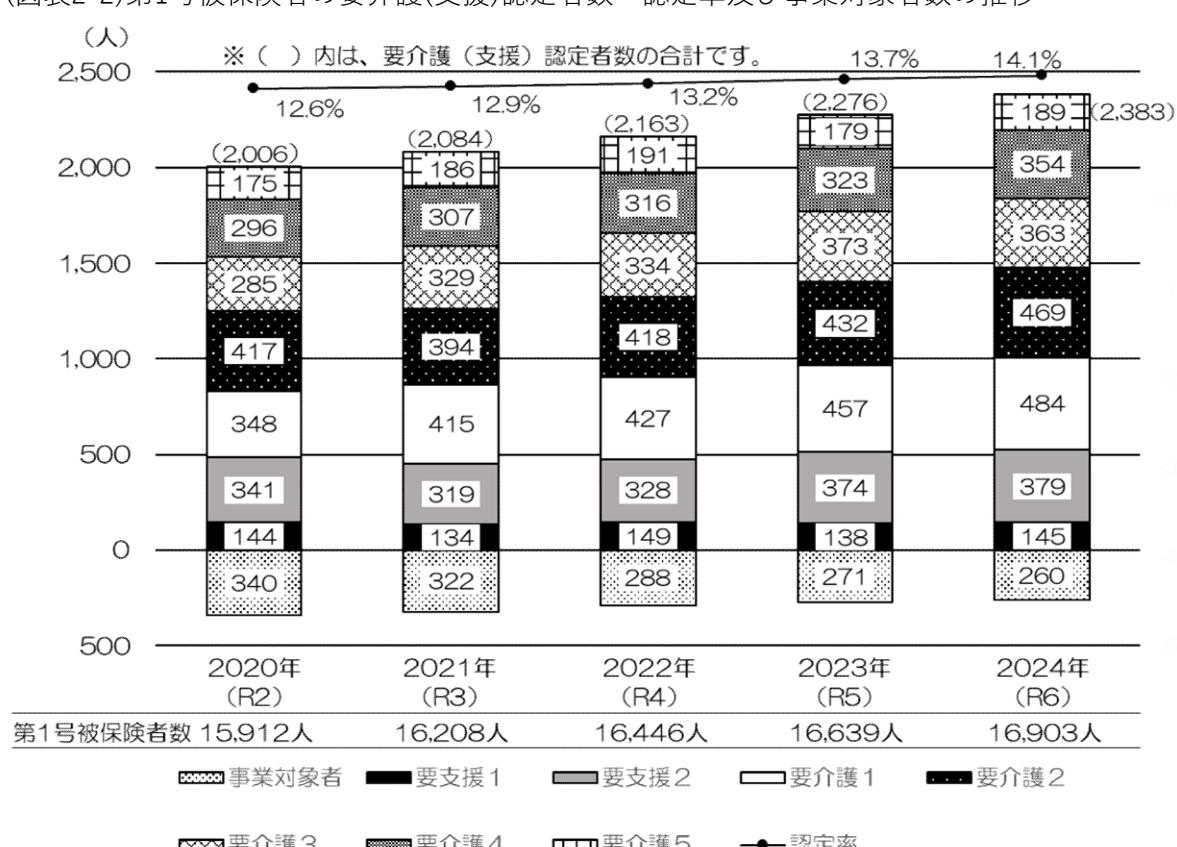
2. 要介護（支援）認定者数

(図表2-1)古賀市の高齢者人口と高齢化率(各年9月末)

各年9月末 (単位:人)

		令和6年度		参考 令和5年度
		計画値	実績値	実績値
要介護（支援）認定者数 (A + B)		2,478	2,423	2,323
第1号被保険者数 (A)		2,428	2,383	2,276
介 護 度 別	要支援1	152	145	138
	要支援2	392	379	374
	要介護1	497	484	457
	要介護2	476	469	432
	要介護3	374	363	373
	要介護4	334	354	323
	要介護5	203	189	179
年 齢 別	65～74歳	229	221	228
	75歳以上	2,199	2,162	2,088
第2号被保険者 (B)		50	40	47
65歳以上人口 (第1号被保険者数) (C)		17,037	16,903	16,639
要介護（支援）認定率 (A/C)		14.3%	14.1%	13.7%
事業対象者数		323	256	271
			260	

(図表2-2)第1号被保険者の要介護(支援)認定者数・認定率及び事業対象者数の推移



※ 吉賀市における各年9月末の認定状況を基に、独自で数値を算出。

(1) 介護サービスの利用状況

24

サービス区分	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)	2023年度 (R6)
居宅（介護予防）サービス				
介護				
1月あたり給付費（円）①	134,003,816	142,524,344	148,438,470	156,269,304
1月あたり審査件数（件）				
実績値 ②	3,539	3,718	3,884	4,114
（参考）計画値	3,735	3,898	4,052	3,963
1件あたり給付費 ①／②	37,865	38,334	38,218	37,985
予防				
1月あたり給付費（円）①	8,868,401	9,090,529	9,574,737	10,249,146
1月あたり審査件数（件）				
実績値 ②	711	736	753	801
（参考）計画値	810	844	874	782
1件あたり給付費 ①／②	12,473	12,351	12,715	12,795
小計				
1月あたり給付費（円）①	142,872,217	151,614,873	158,013,207	166,518,450
1月あたり審査件数（件）				
実績値 ②	4,250	4,454	4,637	4,915
（参考）計画値	4,545	4,742	4,926	4,745
1件あたり給付費 ①／②	33,617	34,040	34,077	33,880
地域密着型（介護予防）サービス				
介護				
1月あたり給付費（円）①	64,909,818	67,794,172	66,563,677	65,160,093
1月あたり審査件数（件）				
実績値 ②	288	294	287	283
（参考）計画値	316	320	324	332
1件あたり給付費 ①／②	225,381	230,592	231,929	230,248
予防				
1月あたり給付費（円）①	296,602	663,188	653,213	430,702
1月あたり審査件数（件）				
実績値 ②	2	5	5	3
（参考）計画値	1	1	1	4
1件あたり給付費 ①／②	148,301	132,638	130,643	143,567
小計				
1月あたり給付費（円）①	65,206,420	68,457,360	67,216,890	65,590,795
1月あたり審査件数（件）				
実績値 ②	290	299	292	286
（参考）計画値	317	321	325	336
1件あたり給付費 ①／②	224,850	228,954	230,195	229,338
施設サービス				
1月あたり給付費（円）①	69,674,044	72,708,640	75,879,955	82,843,709
1月あたり審査件数（件）				
実績値 ②	223	236	244	262
（参考）計画値	272	283	293	265
1件あたり給付費 ①／②	312,440	308,087	310,983	316,197
総計				
1月あたり給付費（円）①	277,752,681	292,780,873	301,110,052	314,952,954
1月あたり審査件数（件）				
実績値 ②	4,763	4,989	5,173	5,463
（参考）計画値	5,134	5,346	5,544	5,346
1件あたり給付費 ①／②	58,315	58,685	58,208	57,652

※介護保険事業状況報告（年報）から算出しています。

事業費の状況

(1) 標準給付費の状況

	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	実績← →推計	(単位：千円)
	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)				
介護サービス給付費 ①	3,333,033	3,513,370	3,613,320	3,779,436	4,043,409	4,204,192
居宅（介護予防）サービス	1,714,467	1,819,378	1,896,158	1,998,221	2,055,452	2,161,868
地域密着型（介護予防）サービス	782,477	821,488	806,603	787,090	966,257	995,150
施設サービス	836,089	872,504	910,559	994,125	1,021,700	1,047,174
その他経費 ②	170,135	162,392	166,353	174,478	207,606	215,494
特定入所者介護（予防）サービス費	66,969	58,685	58,704	61,378	81,735	84,841
高額介護（予防）サービス費	85,531	89,776	92,117	95,317	104,674	108,651
高額医療合算介護（予防）サービス費	15,380	11,575	13,085	15,321	18,487	19,189
審査支払手数料	2,255	2,356	2,447	2,462	2,710	2,813
標準給付費 ①+②	3,503,167	3,675,762	3,779,673	3,953,914	4,251,015	4,419,686

※実績値は、介護保険事業状況報告（年報）から算出しています。

※推計値は、第9期介護保険事業計画より転記しています。

(2) 地域支援事業(事業費)の状況

事業区分	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)	2023年度 (R6)	24 実績← →推計	25	26
					2023年度 (R7)	2023年度 (R8)	(単位：円)
地域支援事業	293,242,548	283,393,122	279,616,384	279,560,085	313,349,000	319,517,000	
介護予防・日常生活支援総合事業	144,217,772	135,422,189	134,071,058	137,994,901	160,513,000	166,681,000	
介護予防・生活支援サービス事業	109,970,558	100,780,140	103,588,450	106,029,286	124,728,000	130,896,000	
一般介護予防事業	33,839,069	34,243,415	30,043,582	31,528,732	35,212,000	35,212,000	
その他	408,145	398,634	439,026	436,883	573,000	573,000	
包括的支援事業	132,022,433	129,422,475	127,063,214	123,812,032	128,841,000	128,841,000	
任意事業	8,830,876	8,769,797	8,850,162	8,127,972	12,685,000	12,685,000	
包括的支援事業（社会保障充実分）	8,171,467	9,778,661	9,631,950	9,625,180	11,310,000	11,310,000	

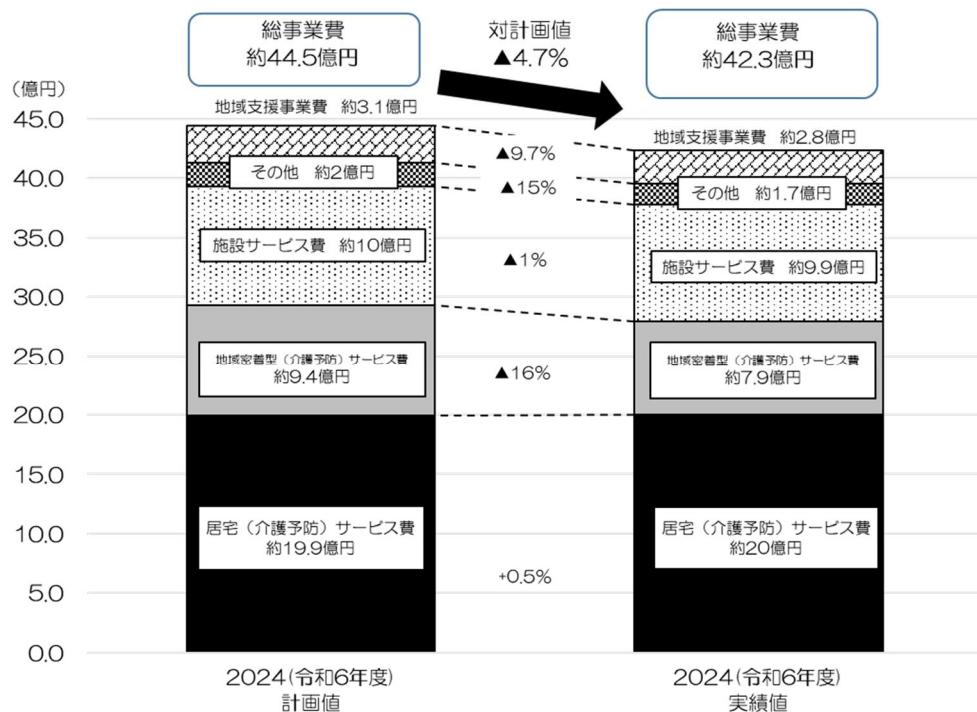
※実績値は、介護保険事業状況報告（年報）から算出しています。

※推計値は、第9期介護保険事業計画より転記しています。

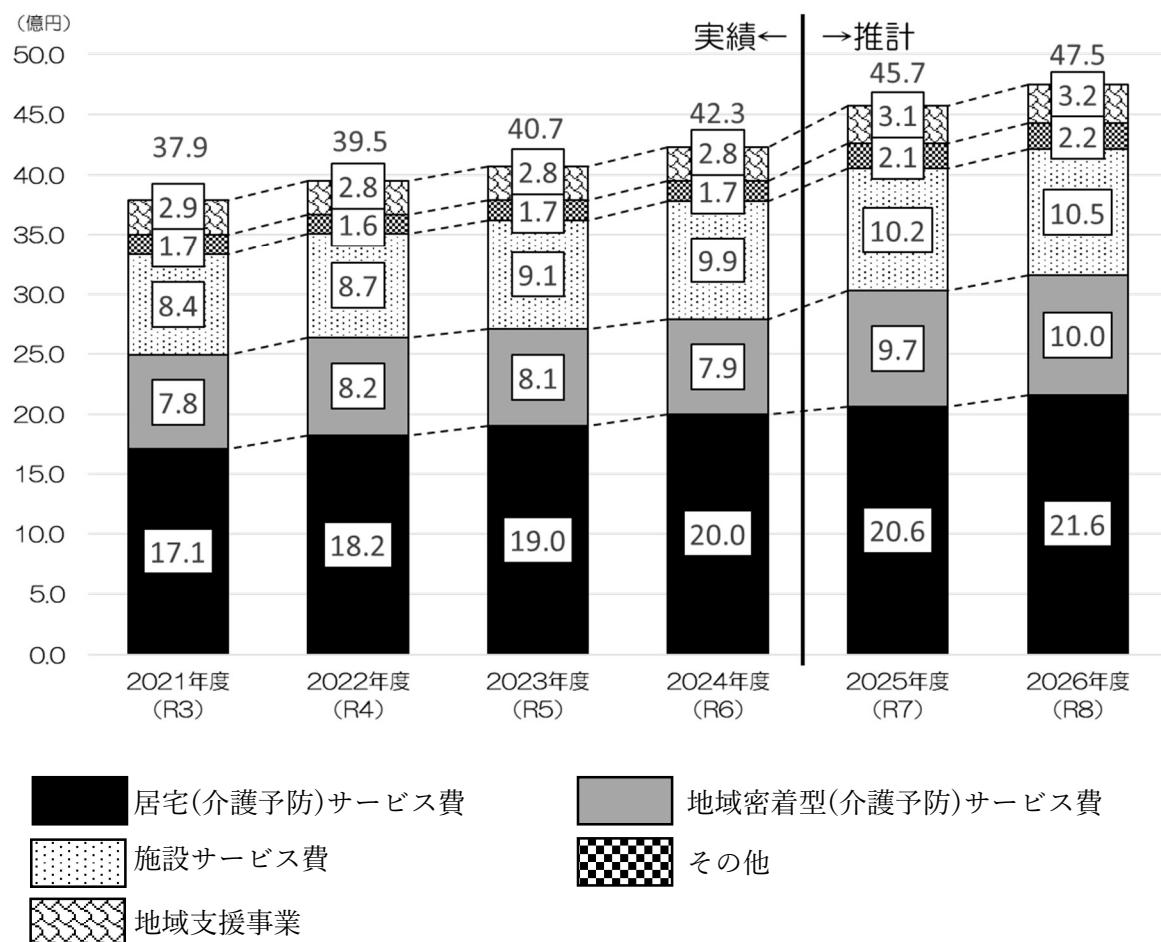
(3) 総事業費の状況

	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	実績← →推計	(単位：千円)
	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)				
(A) 標準給付費見込額	3,503,167	3,675,762	3,779,673	3,953,914	4,251,015	4,419,686
居宅（介護予防）サービス	1,714,467	1,819,378	1,896,158	1,998,221	2,055,452	2,161,868
地域密着型（介護予防）サービス費	782,477	821,488	806,603	787,090	966,257	995,150
施設サービス	836,089	872,504	910,559	994,125	1,021,700	1,047,174
その他	170,135	162,392	166,353	174,478	207,606	215,494
(B) 地域支援事業費見込額	293,243	283,393	279,616	279,560	313,349	319,517
総事業費合計 (A+B)	3,796,410	3,959,156	4,059,289	4,233,474	4,564,364	4,739,203

(4) 令和6年度の総事業費(対計画値)



(5) 第8期（令和3年度）以降の総事業費の推移



介護保険事業計画（第9期・計画期間：令和6～8年度）に記載した取組と目標に対する実績と評価（令和6年度実績）

自己評価基準	
数値目標があるもの	数値目標がないもの
◎ 80%以上	達成できた
○ 60～79%	概ね達成できた
△ 30～59%	達成はやや不十分
✗ 29%以下	まったく達成できなかった

事業・取組	事業・取り組み内容	課題と対応策	成果指標			自己評価			
			令和6年度	令和7年度	令和8年度				
1 みんなで支え合う地域づくりをしよう									
基本施策1 地域支え合い体制の構築									
取組の柱1 地域の支え合いネットワークの強化									
取組（ア） 人材育成と地域づくり 【重点】 (計画ページ：94)	地域活動サポートセンターいひは、介護予防や生活支援を推進する地域づくりの拠点として、運動や音楽などの介護予防サポーターの養成を行い、新たなサポーターの確保に務めるとともに、地域とサポーターとのマッチングを行い、つどいの場等での活動の充実を図ります。介護予防サポーターは、健康づくり推進員や食生活改善推進員など他のサポーターとも連携し、地域における健康づくりや介護予防活動の推進を図ります。 また、つどいの場の充実や地域支え合いネットワーク（協議体）の強化を通じて、高齢者が安心して生活できる環境づくりを支援します。具体的には、小学校区ごとに地域支え合いネットワークを形成し、小学校区内の協力体制を強化します。	令和6年度の目標値（計210人）に対し247人の登録があった。しかし、実際の活動を行った方は146人（76.5%）となっている。これは、施設や地域とのマッチングやサポーター活動についての趣旨が伝わっていないなどの課題が考えられ、施設や地域への周知啓発の強化やサポーター研修内容の見直しを行っていく必要がある。また、地域によっては、サポーターがいないところもあることから引き続き人材育成を行い、地域の健康格差の解消を図る必要がある。	介護予防サポーター登録者数	計画	210人	210人	210人	◎	
実績	247人	-	-	-					
取組の柱2 地域での多様な主体による支援の推進									
取組（イ） 社会参加と生きがいづくり (計画ページ：95)	古賀市シニアクラブ連合会や古賀市シルバー人材センター等の団体の支援を行い、高齢者の生きがいづくり、健康づくり及び就労等を推進します。 高齢者が、参加者として地域活動へ参加することやサポーターとして活動することは、地域内の孤立防止に役立ち、介護予防の促進、健康寿命の延長に寄与します。高齢者が、地域活動へ気軽に参加したり、得意とする分野や興味関心がある活動で社会貢献できるよう、サポーターの養成や活動支援、生きがいづくりを推進します。	古賀市シニアクラブ連合会や古賀市シルバー人材センター等の高齢者の生きがいづくり、地域社会の課題解決に対する支援（補助金交付）を行った。	数値目標なし	○					
取組の柱3 地域のつどいの場の充実									
取組（ウ） 自主的な介護予防活動の推進 【重点】 (計画ページ：96)	地域のつどいの場で、健康づくりや介護予防活動が継続的に行われるよう、市は介護予防などに関する教材や動画を作成し、市のホームページなどで情報提供することにより、市民が活用しやすい環境を整えます。 また、サポーターが、地域のつどいの場等でそれら教材を活用した活動を実施することや、いきいきボーランピック大会や活き生き音楽交流会等のイベントをとおして、介護予防の普及啓発を図ります。 さらに、健康測定や健康講話、相談などの支援を専門職が行い、地域活動の充実を図ります。	令和6年度も介護予防サポーターが各地域のつどいの場で定期的な介護予防活動を実施している地域団体が29団体あり、地域の介護予防活動を推進している。また、定期的な活動以外の出前講座やボーランピック大会、音楽交流会などを通し、各地域で活動している回数も増加傾向にあり、それに伴い、サポーターの活動の場及び介護予防の普及啓発の場も増加している。定期的な活動がより、つどいの場の充実や介護予防に繋がるため、サポーターが定期的な支援を行う地域団体を増やしていく必要がある。	地域介護予防活動参加者数	計画	15,000人	16,000人	17,000人	◎	
実績	16,685人	-	-	-					
取組の柱4 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な推進									
取組（工） 健康寿命を延ばす取組 【重点】 (計画ページ：97)	古賀市では、健康寿命を延ばすために「健康チャレンジ10か条」を策定し、ヘルス・ステーションや地域のつどいの場などを通じて広く啓発しています。高齢者を含む全ての市民が「健康チャレンジ10か条」に継続して取り組むことで、生涯にわたる健康の維持・向上とフレイル予防を推進します。 また、健康診査を推奨し、保健師や管理栄養士等の専門職による個々の健康状態に合わせた保健指導や健康相談を行い、生活習慣病の発症および脳血管疾患や心疾患、認知症、骨折などの重症化予防を図ります。 地域においては、インボディなど各種健康測定や体力測定、塩分測定など「測る」ことに着目した取組を推進し、専門職がサポーターや地域住民との連携を強化することで、市民の健康に関する意識の向上や介護予防活動の充実を図ります。 さらに、地域のつどいの場にはリハビリテーション専門職などを派遣し、効果的な運動方法や介護予防活動に関する支援を行うとともに、口腔機能の維持・向上を図るための取組を強化し、地域住民が自発的に介護予防を推進できる環境を整備します。	75歳以上対象の後期高齢者健康診査の受診率は年々上昇しているものの県や国の受診率よりも低い状況である。後期高齢者のほとんどが医療機関受診中であるため保険者である後期高齢者医療広域連合会にて、みなし健診を開始したが、受診者はわずか21名であり市内医療機関への理解を得るためにある。健診結果については、個々の結果に応じた保健指導や健康相談、健康教室を保健師や管理栄養士等が実施。また医療機関や健康診査の受診歴がない健康状態不明者については、健診の受診勧奨等訪問を実施したが支援につながっても翌年度に死亡、要介護認定に至った方が多く、健康状態不明者は地域包括支援センターと連携のものに支援が必要である。	後期高齢者検診受診率	計画	13.28%	14.61%	16.07%	◎	
実績	16.77%	-	-						
地域リハビリテーション活動支援事業実施箇所数									
計画	4箇所	5箇所	6箇所	実績	6箇所	-	-	○	
取組（オ） 自宅で行う介護予防の取組 【重点】 (計画ページ：98)	自宅での健康づくりやフレイル予防として、「家トレ（お家でできるトレーニング）」や音楽活動（鍵盤ハーモニカなど）を奨励し、教材や動画を作成して市のホームページなどで提供しています。さらに、これらの教材をサポーターも活用することにより、つどいの場でも介護予防活動が展開される仕組みを整備し、「家トレ」だけでなく、つどいの場で行う「集トレ」など、持続的な介護予防の取組を推進します。 また、体力測定や個々の高齢者に合った運動についてのアドバイスを行う「家トレ相談室」を設置し、個別の健康ニーズに応じた支援を行います。	高齢者が、地域の公民館や高齢者施設等において各種介護予防サポーター活動を行うことにより、自身の社会参加を促すとともに、地域での介護予防活動の推進を図りました。 また、家庭や公民館等で健康づくりやフレイル予防の取組ができるよう各種教材を作成し、提供することができた。 つどいの場などより多くの場所で教材を活用し、介護予防の取り組みを一層進めていく必要がある。	数値目標なし	○					

事業・取組	事業・取り組み内容	課題と対応策	成果指標	自己評価																																								
2 住み慣れた地域で最期まで暮らしたい			令和6年度 令和7年度 令和8年度																																									
基本施策2 相談支援の推進																																												
取組の柱5 地域包括支援センターの機能充実																																												
取組（力） 地域包括支援センターの運営 【重点】 (計画ページ：100)	<p>地域包括支援センターは、社会福祉士や保健師、主任ケアマネジャー等の専門職を配置し、地域の介護・福祉サービスの提供体制を支える中核的な機関として設置しています。</p> <p>基幹型地域包括支援センターと各圏域地域包括支援センターでは、役割分担のもと課題解決に取り組み、特に各圏域地域包括支援センターでは、市民向けの相談会や医療・介護事業所間の交流を通じ、圏域地域包括支援センターの周知や日常生活圏域ごとの課題抽出や解決に向けたネットワークの構築を図るなど、今後も高齢者の心身の状況や生活の実態、必要な支援等を幅広く把握し、適切な保健・医療・福祉サービス、機関又は制度の利用につなげる等の支援を行います。</p> <p>今後は、高齢者のみなならず障がい・子育て世帯・生活困窮世帯などに対する包括的な相談支援体制を意識しつつ、権利擁護業務や認知症施策・医療・介護連携・ケアマネジャー支援において取組を強化します。</p> <p>また、医療・介護等の専門職をはじめ、民生委員・児童委員・ボランティア等地域の多様な関係者が協働し、ケアマネジャーのケアマネジメント支援を通じて、各圏域の地域特性や実情を踏まえ、地域課題の解決や地域支援の形成等を検討する場として地域ケア個別会議を実施し、圏域における地域包括ケアシステムの構築・強化に努めます。</p>	<p>令和3年4月に市内3中学校区に地域包括支援センターを増設して以降、地域に身近な相談窓口としての機能が定着し、基幹型を含めた相談件数は引き続き多い状況にある。高齢者や家族、支援者からの相談に対し、関係機関と連携して対応することで、支援の質の向上が図られた。</p> <p>また、基幹型と各圏域センターによる定期会を通じて、情報共有や役割分担を明確にし、課題解決に取り組んだ。地域ケア会議では個別ケースをもとに地域課題を分析・抽出し、生活支援体制整備事業の報告とあわせて、市の施策検討にも活用された。</p> <p>今後も、センターの周知、地域活動への参画、支援者団体との連携強化を進め、体制のさらなる充実を図る必要がある。</p>	<table border="1"> <tr> <td>第1地域包括支援センターへの延べ相談件数</td> <td>計画 14,300件</td><td>15,800件</td><td>17,300件</td><td></td></tr> <tr> <td>実績 9,175件</td><td>-</td><td>-</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>第2地域包括支援センターへの延べ相談件数</td><td>計画 10,600件</td><td>11,600件</td><td>12,700件</td><td></td></tr> <tr> <td>実績 7,702件</td><td>-</td><td>-</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>第3地域包括支援センターへの延べ相談件数</td><td>計画 7,000件</td><td>7,700件</td><td>8,400件</td><td></td></tr> <tr> <td>実績 4,936件</td><td>-</td><td>-</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>地域ケア個別会議での事例検討数</td><td>計画 72件</td><td>72件</td><td>72件</td><td></td></tr> <tr> <td>実績 48件</td><td>-</td><td>-</td><td></td><td></td></tr> </table>	第1地域包括支援センターへの延べ相談件数	計画 14,300件	15,800件	17,300件		実績 9,175件	-	-			第2地域包括支援センターへの延べ相談件数	計画 10,600件	11,600件	12,700件		実績 7,702件	-	-			第3地域包括支援センターへの延べ相談件数	計画 7,000件	7,700件	8,400件		実績 4,936件	-	-			地域ケア個別会議での事例検討数	計画 72件	72件	72件		実績 48件	-	-			○
第1地域包括支援センターへの延べ相談件数	計画 14,300件	15,800件	17,300件																																									
実績 9,175件	-	-																																										
第2地域包括支援センターへの延べ相談件数	計画 10,600件	11,600件	12,700件																																									
実績 7,702件	-	-																																										
第3地域包括支援センターへの延べ相談件数	計画 7,000件	7,700件	8,400件																																									
実績 4,936件	-	-																																										
地域ケア個別会議での事例検討数	計画 72件	72件	72件																																									
実績 48件	-	-																																										
取組の柱6 包括的な相談支援体制の構築																																												
取組（キ） 重層的な相談支援 (計画ページ：103)	<p>高齢者やその家族、高齢者と障がいを持つ人がいる世帯などが抱える複雑化・多様化した問題の解決に向け、相談を包括的に受け止めるとして、地域包括支援センターや社会福祉協議会に配置するコミュニケーション・シャトルワーカー（CSW）等につなげるなど、支援ニーズに対応する包括的な相談支援体制を整備するため、属性を問わない相談支援や多機関協働による支援、アウトリーチ等を通じた継続的支援を実施し、本人に寄り添い、伴走する相談支援体制の構築に取り組みます。</p>	<p>令和3年4月より市内3中学校区に配置しているCSW（コミュニケーション・シャトルワーカー）は、引き続き地域住民の複雑・複合的な課題に対し、関係機関と連携した相談支援を実施した。令和6年度も新規及び継続した相談に丁寧な対応が行われた。</p> <p>今後も、高齢・障がい・子ども・子育て・生活困窮など各分野の支援機関との連携を強化し、地域全体で支える包括的な相談支援体制の構築を進めていく必要がある。</p>	<p>数値目標なし</p>	○																																								
基本施策3 認知症施策の推進																																												
取組の柱7 認知症の理解促進																																												
取組（ク） 市民が支える認知症施策の普及啓発 【重点】 (計画ページ：105)	<p>認知症の人やその家族を地域全体で見守り支援するため、古賀市キャラバン・メイト連絡会「橙（だいだい）」の会員を講師として、市民や市内企業、学校教諭、市職員等を対象に、「認知症サポートー養成講座」を実施します。また、市内の小学生を対象にした認知症ジュニアサポートー養成講座「オレンジ教室」、中学生を対象に「認知症VR体験講座」を行うことで、継続的に認知症について学ぶ機会を更に充実します。今後は新たに市内の高校・大学での講座を実施し、市民全体で認知症の人やその家族を支える体制づくりに取り組みます。</p> <p>養成した認知症サポートー（ステップアップ講座を受講した人）については、地域において把握した認知症の人や家族のニーズ等と認知症サポートーを中心とした支援を繋ぐ仕組み（チームオレンジなど）の整備に向けて、国の動向をみながら取り組みます。</p>	<p>令和6年度も、古賀市キャラバン・メイト連絡会「橙（だいだい）」の会員を講師に、市内小学校でのジュニアサポートー養成講座や、中学校での認知症VR体験講座、また市内県立高校での認知症サポートー養成講座を実施し、認知症に対する理解を深める取組を行った。また、市職員・市民向けにも講座を実施し、幅広い対象への啓発に努めた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>認知症サポートー養成講座等受講者数</td> <td>計画 1,250人</td><td>1,280人</td><td>1,300人</td><td></td></tr> <tr> <td>実績 1,550人</td><td>-</td><td>-</td><td></td><td></td></tr> </table>	認知症サポートー養成講座等受講者数	計画 1,250人	1,280人	1,300人		実績 1,550人	-	-			○																														
認知症サポートー養成講座等受講者数	計画 1,250人	1,280人	1,300人																																									
実績 1,550人	-	-																																										
取組の柱8 認知症の人との共生と予防の推進																																												
取組（ケ） 認知症の早期発見・早期対応 (計画ページ：105)	<p>認知症の人や家族の相談を受け止める相談窓口として、市内の地域密着型サービス事業所を拠点に「古賀まちかど相談所」（地域包括支援センターのプランチの位置づけ）を設置し、受けた相談内容を地域包括支援センターや社会福祉協議会に配置するコミュニケーション・シャトルワーカー（CSW）等の専門職につなげ、適切なサービス等の利用につなげるなど早期発見・早期対応の仕組みづくりに取り組みます。</p> <p>複数の専門職（認知症サポート医、チーム員等）で構成された認知症初期集中支援チームが、認知症の疑いがある人や認知症の人、その家族等の自宅へ訪問して現状や課題を把握し、早期に必要な支援を包括的・集中的に行なうことで、症状の進行を予防し、適切なサービスへつなげます。</p> <p>また、地域包括支援センターに配置する認知症地域支援推進員は、認知症ケアバスを活用し、認知症の人がその状態に応じて必要な医療や介護のサービスを受けられるよう、関係機関との連絡体制の強化や支援等を行います。</p>	<p>令和6年度も、各地域包括支援センターの認知症地域支援推進員により、認知症ケアバスの配布を通じた周知・啓発を継続して実施した。現在の認知症ケアバスは症状中心の内容であるが、認知症当事者の声を反映した内容への改定が国から求められており、今後の改訂に向けた検討が必要である。</p> <p>また、認知症初期集中支援チームは、引き続き各地域包括支援センターごとに相談対応や支援を行った。</p> <p>今後はチーム会議を開催し、認知症の人への支援内容や対応方法について共有・連携を図ることが求められる。</p>	<p>数値目標なし</p>	○																																								
取組（コ） 認知症の人と共に生きる支援 【重点】 (計画ページ：106)	<p>地域包括支援センターに配置する認知症地域支援推進員を中心として、認知症の人や家族がともに参加し、それぞれの思いをつなぎ、ともに気付き合う場を提供する認知症カフェ（のほほんカフェ）の更新の設置に取り組みます。本人支援、家族支援、他の家族や地域との交流を行なう一体的の支援を行うことで、家族の介護負担を軽減し、認知症の人の在宅生活の安定を推進します。</p> <p>また、行方不明のおそれがある人の事前登録を促進し、登録した人が行方不明になった際に警察と連携して広域（福岡市・粕屋地区、宗像地区的自治体）で捜索協力のメール配信を行なう事業と併せて、行方不明時の早期発見につながる事業等の実施により、認知症高齢者の見守りと地域のネットワークづくりに取り組みます。</p> <p>認知症等で判断能力の十分でない人が不利益を被らないように家庭裁判所に申立てを行い、意思決定の支援を行う後見人等として弁護士等の専門職を選任する成年後見制度の利用について助言等を行うとともに、制度の周知・啓発を行ないます。また、後見人等の支援が必要な高齢者本人に親族がおらず成年後見制度の申立てを行なうことができない場合、市長による申立てを行ないます。</p> <p>認知症高齢者や親族のいない高齢者等の増加により、専門職による後見人等の扱い手が不足する状況を補完するため、市民後見人の育成及びフォローアップを実施する等、高齢者の権利擁護を支援する体制の充実を図ります。</p>	<p>令和6年度は、認知症カフェの新規開設はなかったため、目標には届かなかったが、認知症カフェ運営についての研修等を受け、新規開設に向け調整中。</p> <p>認知症高齢者等SOSの登録者および協力者は増加し、地域における見守り体制の強化につながった。</p> <p>また、行方不明時の早期発見を目的にGPS機器の貸出事業を継続して実施したが、すでに民間サービスを利用している人が多く、実績は少なかった。</p> <p>高齢者の権利擁護では、虐待の疑いがある事例に対してコアメンバー会議を開催し、成年後見制度に関する相談・情報提供も行なうなど、必要な支援につなげることができた。</p> <p>今後も、高齢者を支える関係機関との連携を深め、認知症の人が安心して暮らせる地域づくりに向けた施策を推進していく必要がある。</p>	<table border="1"> <tr> <td>認知症カフェ開設箇所数</td> <td>計画 8か所</td><td>10か所</td><td>12か所</td><td></td></tr> <tr> <td>実績 1か所</td><td>-</td><td>-</td><td></td><td></td></tr> </table>	認知症カフェ開設箇所数	計画 8か所	10か所	12か所		実績 1か所	-	-			×																														
認知症カフェ開設箇所数	計画 8か所	10か所	12か所																																									
実績 1か所	-	-																																										

事業・取組	事業・取り組み内容	課題と対応策	成果指標	自己評価		
		令和6年度 令和7年度 令和8年度				
基本施策4 地域での生活を支える医療・介護・福祉サービスの整備						
取組の柱9 在宅医療・介護連携の推進						
取組（サ） 在宅医療・介護連携の普及啓発 【重点】 (計画ページ：108)	市民が知りたい医療・介護関係機関に関する情報提供として、粕屋医師会が運用する「かすや医療・介護情報ネット（さがすくん）」の周知・啓発を行います。 市内の医療機関で在宅医療に関する情報を集約し、居宅介護事業所ネットワーク等を通じて高齢者及び家族に周知することで、在宅医療を希望する高齢者がより相談できる体制づくりに取り組みます。 また、粕屋医師会が主催する住民講座においてACP（アドバンスケアプランニング：人生会議）に関する講話への参加案内や市の広報紙等を活用した特集など終末期に関する普及啓発を行います。	令和6年度も粕屋医師会主催による住民講座がオンライン形式（YouTube動画配信）で開催されたが、市内の参加者数やアンケート結果が把握できず、効果の判定には至らなかった。 前年度の課題を踏まえ、アンケート内容の改善等について粕屋医師会と協議を進め、成果の把握と目標達成に向けた取組を行った。 今後も、高齢者の疾患への理解やACP（人生会議）、看取りなどに関する講話を継続し、市民の理解促進と在宅医療・介護の意識醸成を図っていく必要がある。	終末期に関する住民講座の参加者数 計画 60人 65人 70人 実績 1,259人 - -	△		
取組（シ） 多職種連携の促進 (計画ページ：108)	高齢者が自宅等の住み慣れた生活の場で自分らしい生活を続けるために、医療・介護の関係機関（医療機関、薬局、訪問看護事業所、介護サービス事業所等）が連携して、在宅医療・介護の提供を行うことが必要です。そのため、粕屋医師会や古賀市在宅医療・介護連携協議会（コスモネット）等とともに、医療と介護の連携体制の構築に取り組みます。	粕屋医師会が主催する多職種連携会議に引き続き参加し、在宅医療・介護の提供体制に関する情報共有を行った。また、圏域包括支援センターが中心となり、市内の医療・介護関係者に呼びかけて「介護・医療交流会」を開催し、地域内の連携強化とネットワークづくりを推進した。 今後も、医療と介護が一体的に提供できる体制の構築に向けた取り組みを進めていく。	数値目標なし	△		
取組の柱10 介護サービスの適正な運用						
取組（ス） 介護予防・生活支援サービスの推進 (計画ページ：109)	地域包括支援センターの専門職が、要支援認定を受けた人など介護予防・生活支援サービス事業の対象となる人の個々の状況を踏まえて、適切なサービスが提供されるよう支援を行います。特に生活機能の低下がみられる高齢者が自分の望む生活や社会活動を実現するために、保健・医療・福祉などの専門職と協力し、短期間に、集中的に生活機能を改善するための運動器の機能向上を目的とした訪問型・通所型サービスC（短期集中予防サービス）の利用を推進します。また、地域が行う介護予防活動への参加につなぎ、測定等による評価に基づき助言を行うなど、高齢者の生活機能向上に取り組みます。	令和6年度は、訪問型・通所型サービスCの利用者数が3人となり、引き続き少ない状況であったが、各圏域の地域包括支援センターが要支援認定者に対して適切なサービスへつなぎ、生活機能の低下予防に向けた支援を実施した。 今後も支援が必要な高齢者に対し、関係機関と連携しながら、適切なサービス提供と支援体制の確保に取り組む必要がある。	訪問型・通所型サービスC（短期集中予防サービス） 実利用者数 計画 15人 18人 21人 実績 3人 - -	×		
取組（セ） 介護給付費適正化の取組 (計画ページ：109)	介護保険事業の適正な運営を図るため、要介護（支援）認定調査の内容確認やケアプランの点検等を行います。さらに、引き続き専門職による住宅改修等の点検を実施し、必要な人へ適切なサービスが提供できるよう取り組みます。 また、介護サービス事業所の適正な運営を図るため、事業所に赴き、サービスの提供が適切に行われているかを確認し指摘・指導する「運営指導」や、介護報酬改定等の制度改正や運営指導の指摘事項等について、市指定の事業所に対し説明する「集団指導」を開催します。 このほか、高齢者の介護を社会全体で支え合う介護保険制度の仕組みや利用方法について、パンフレットの作成やホームページでの掲載を行い、地域包括支援センター等の関係機関と連携し、広く市民への周知を図ります。	令和6年度も要介護（支援）認定調査内容の確認、住宅改修・福祉用具貸与調査、ケアプラン点検等を行ってきた。 運営指導については、目標を下回る実施数となつたが、県との合同により実施の機会を設けたり、更新時期が近い事業所に対して運営指導・現地調査を行うことで、更新時期の事業所の負担軽減につながるよう実施した。 今後は実施回数を目標値に近づけられるよう、介護サービス事業所との連携を取りながら実施していく必要がある。 介護保険制度の仕組み等について、ホームページや広報への掲載を行うとともに、パンフレットを活用し窓口での説明や関係団体への周知を図った。	運営指導を行う回数 計画 13回 13回 13回 実績 7回 - -	△		
取組（ソ） 介護人材の確保 【重点】 (計画ページ：110)	人口減少と少子高齢化が進展する中、高齢者の生活を支える介護現場の人材確保は深刻な課題です。介護を必要とする人に対し必要なサービスが提供できるよう、働きやすさと働きがいを感じられる職場づくりを促進し、職員の定着をめざします。 ・食事の配膳や外出補助など簡単な支援を行ううサポートを育成し、人材不足に悩む介護サービス事業所と介護予防サポートとのマッチングを行います。 ・調理や掃除、買い物等の生活支援の担い手を育成し、就労支援に取り組みます。 ・介護サービス事業所職員を対象とした研修会を実施し、働きやすい職場の環境づくりを促進するとともに、事業所間での情報共有が行えるような機会の設定に取り組みます。	令和6年度、サポートを派遣した施設は6か所であった。サポート内容は大半がゆいサボ教室で培った特技を披露する活動や傾聴が多く、食事の配膳や外出補助などの支援まで至っていない。効果的な支援につながるようサポートの育成のあり方等について検討が必要である。 集団指導などの機会を活用し、介護サービス事業所に対し、離職防止のため働きやすい職場環境づくりに関する研修を実施した。 ハローワークと共同で介護・福祉の仕事合同就職面談会を実施し、人材確保に努めるとともに、介護職に対する理解促進やPRを図った。	介護予防サポート派遣箇所数 計画 6か所 7か所 8か所 実績 6か所 - -	◎		
取組の柱11 安心した生活の確保						
取組（タ） 安心した生活につながる取組 (計画ページ：111)	一人暮らし高齢者等が地域で安心して生活できるよう、民生委員・児童委員や福祉員等の他に、新聞配達・電気・ガス・郵便局・ごみ収集（ふれあい集会を含む）・宅配弁当・コンビニエンスストア等の多くの事業者と協定を結び、見守り活動の強化を図るとともに、協力事業者や介護事業所等の合同研修会を実施し連携体制の構築を図ります。 また、移動販売や宅配等の民間サービスの活用と併せて、スマートフォンの使い方講座を引き続き実施し、自ら商品を購入することができるよう買い物支援に取り組みます。 移動手段の確保に関しては、アンケート調査や地域ケア会議でも明らかになっているとおり、市全体の検討課題であることから、関係部署で地域の特性や意向を確認し、地域に適した持続可能な公共交通となるように、地域住民を主体として取り組みます。 高齢者の在宅生活を支える住まいについては、特別養護老人ホームや介護医療院等の介護保険における施設サービスやグループホームの他に、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅といった住まいも、多様な介護ニーズの受け皿となっていることから、福岡県と連携し情報の把握に努め、市民への情報提供を行います。 他にも、環境や経済的な理由により在宅での生活が困難な高齢者に対しては、必要時に応じて養護老人ホームへの入所措置を行い、生活環境の支援に取り組みます。	一人暮らし高齢者等見守り事業所との協定により、異変時の連携体制が構築されており、令和6年度は新たに3事業所と協定を締結し、協力事業者数は計54事業所となった。高齢者世帯の増加を見据え、今後も協力事業者の拡大と見守り体制の強化が求められる。 生活支援体制整備事業（SC事業）の中で農林振興課との協働事業である「スマートアグリビレッジおの」で生活支援として買物支援の実証実験を行った。また経営戦略課とは公共交通に関する意見交換を行ながら高齢者のニーズにあつた移動手段の確保について協議した。 住まいに関する情報提供では、民間事業者の紹介やガイドブックの更新、市ホームページを通じた情報発信を継続した。 養護老人ホームの入所措置については、継続の入所措置1件が年度途中で長期入院により廃止となり該当者なしとなった。	数値目標なし	○		
取組（チ） 家族介護者の支援 【重点】 (計画ページ：113)	家族介護者が地域で孤立することがないように、悩みや不安を共有する場所として、家族介護者のつどいや地域カフェの拠点を図ります。 また、家族の介護を抱えている就業者が離職せず仕事と介護を両立できるよう、地域包括支援センターや介護事業所などの専門職が、認知症や身体介護等に関する対応方法や症状に関する情報提供、介護相談会等の実施、適切なサービス利用等につなぐための助言を行うなど寄り添った支援を行います。	地域包括支援センターが高齢者本人や介護者等からの相談に対応し、必要に応じて関係機関へつなぐなど、寄り添った支援を継続して実施した。今後も相談支援の質の向上に努める必要がある。 また、圏域包括では地域の実情に応じて相談会や介護講座を開催し、家族介護者が気軽に相談できる機会づくりに取り組んだ。	数値目標なし	○		
取組（ツ） 福祉サービスの支援 (計画ページ：113)	判断能力の低下により日常生活に不安がある高齢者等の暮らしを支援するため、成年後見制度の利用など権利擁護支援を行います。 一人暮らし高齢者の不安を軽減するため、引き続き安否確認緊急対応コールによる見守りや日常の生活相談に対する支援を行います。 また、配食サービスについては、さまざまな民間サービスの事業展開もなされていることから、見守り支援を重点として高齢者の生活支援に努めます。 その他、はり・きゅう施術料の助成や紙おむつの給付については、交付実績や方針等を踏まえ、今後のサービスの在り方について検討する必要があります。	権利擁護支援として「持続可能な権利擁護支援モデル事業」「日常生活自立支援事業」を委託により実施し、金銭管理や相談援助支援を行った。 一人暮らし高齢者の安否確認緊急対応コールについては、91人の利用者があり、緊急通報の用途のみならず、健康相談や日常の生活相談に対応することで、生活不安の軽減、家族の安心に繋がっている。 介護用品（紙おむつ）給付サービスは延べ921人、配食は延べ1,546食のサービスを行い、在宅高齢者の負担軽減につながった。利用者は横ばい傾向にある。 なお、配食サービスについては受託事業所の減少や、安否確認緊急コール事業と目的が重複しており、民間事業者も同等のサービスを提供している現状から、令和6年度にて事業廃止した。 はり・きゅう施術料助成については353人に対しはり・きゅう券の交付を行い、高齢者の健康維持に寄与した。しかしながらその交付率は対象である65歳以上の人口の2%程度であり、コロナ以降も利用者・助成額共に減少傾向にあるため、この事業の在り方については検討が必要である。3	数値目標なし	○		

第10期介護保険事業計画策定のための高齢者等実態調査について

1. スケジュール

- 令和7年 8月 高齢者等実態調査の実施手引きの提示
- 10月 高齢者等実態調査の委託者決定
- 12月 高齢者等実態調査の実施(郵送)
- 令和8年 1月 調査票回収
- 3月 集計・分析

2. 調査概要 ※対象者や抽出方法は前回調査と同様

(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

＜目的＞

高齢者のリスクや社会参加状況、今後の生活についての意見等を調査・分析して
地域の抱える課題を特定する。

＜対象者＞

4,800人

- ※ 令和7年9月末時点における65歳以上の古賀市民で、要介護認定(要介護1～5)を受けていない人。
- ※ 小学校区ごとに、年代別に無作為抽出。

＜調査設問＞

別添1のとおり

＜前回からの変更箇所＞

該当ページ	設問番号	変更内容
P2	-	個人名・住所の記載欄廃止
P9	問5(1)	回答項目⑤について、通いの場の補足説明を追加
P10	問6	就労の状況に関する質問の新設
P13	問8(7)	設問内容に関する補足説明を追加

(2) 在宅介護実態調査

＜目的＞

「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に
向けた介護サービスの在り方を検討する。

＜対象者＞

1,100人

- ※ 令和7年9月末時点における要介護認定者。(要支援認定者、事業対象者を除く。)
- ※ 介護保険施設(介護老人福祉施設・介護老人保健施設・介護医療院)、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、認知症対応型共同生活介護、特定施設入居者生活介護を利用している人を除く。

＜調査設問＞

別添2のとおり

＜前回からの変更箇所＞

該当ページ	設問番号	変更内容
P2	-	個人名・住所の記載欄廃止

<質問項目について>

オプション項目の設問は、グレーの網掛け  をしています。

市独自項目は、問10(P13)以降です。

第10期

郵送

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 【調査票】

日頃から、古賀市行政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本市では令和8年度末を目指し、「介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画」を策定予定です。この計画策定にあたり、皆様の心身の状態や生活状況、今後の生活に関するニーズ等をお聞かせいただくために、65歳以上の方を対象に無作為抽出にてアンケート調査を実施します。

皆様からのご回答は貴重な資料となりますので、ご多忙中とは存じますが、本調査にご協力いただきますようよろしくお願ひいたします。

令和7年12月
古賀市健康介護課 介護保険係

調査票記入の際のご注意

- 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
- 調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、

1月9日(金)までに投函してください。

調査についてのお問合わせ先

古賀市 健康介護課 介護保険係

〒811-3116 福岡県古賀市庄205番地 (サンコスモ古賀)

☎ 092-942-1144

FAX 092-942-1154

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものとみなさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、「介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画」の策定のために行うものです。当該情報については、古賀市で適切に管理いたします。
- ただし、厚生労働省が管理する全国のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することができます。

記入日	令和 年 月 日
※下記より各項目の該当するものに○、または記入をお願いします。	
お住まいの 小学校区 (調査対象者)	1. 青柳小学校区 · 2. 小野小学校区 3. 古賀東小学校区 · 4. 古賀西小学校区 5. 花鶴小学校区 · 6. 千鳥小学校区 7. 花見小学校区 · 8. 舞の里小学校区 ※小学校区がわからない方は行政区名を下記に記入願います () 区)
年代 (調査対象者)	65歳~69歳 · 70歳~74歳 75歳~79歳 · 80歳~84歳 85歳以上
性別 (調査対象者)	男性 · 女性 · 回答しない
調査票記入者	1. 調査対象者ご本人が記入 2. ご家族が記入 (調査対象者からみた続柄) 3. その他

問1**あなたのご家族や生活状況について****(1) 家族構成をお教えください**

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)
4. 息子・娘との2世帯
5. その他

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】**① 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか (いくつでも)**

1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
2. 心臓病
3. がん (悪性新生物)
4. 呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等)
5. 関節の病気 (リウマチ等)
6. 認知症(アルツハイマー病等)
7. パーキンソン病
8. 糖尿病
9. 腎疾患 (透析)
10. 視覚・聴覚障がい
11. 骨折・転倒
12. 脊椎損傷
13. 高齢による衰弱
14. その他 ()
15. 不明

【(2)において「3.現在、何らかの介護を受けている」方のみ】**② 主にどなたの介護・介助を受けていますか (いくつでも)**

1. 配偶者 (夫・妻)
2. 息子
3. 娘
4. 子の配偶者
5. 孫
6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー
8. その他 ()

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 持家（一戸建て） | 2. 持家（集合住宅） |
| 3. 公営賃貸住宅 | 4. 民間賃貸住宅（一戸建て） |
| 5. 民間賃貸住宅（集合住宅） | 6. 借家 |
| 7. その他 | |

※（一般的な賃貸借契約がある場合は、「4. 5. 民間賃貸住宅」を選択し、個人的な賃貸借は借間も含めて「6. 借家」を選択してください。）

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(3) 15分位続けて歩いていますか

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

- | | | |
|----------|---------|-------|
| 1. 何度もある | 2. 1度ある | 3. ない |
|----------|---------|-------|

(5) 転倒に対する不安は大きいですか

- | | | | |
|-------------|------------|-------------|----------|
| 1. とても不安である | 2. やや不安である | 3. あまり不安でない | 4. 不安でない |
|-------------|------------|-------------|----------|

(6) 週に1回以上は外出していますか

1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

1. とても減っている 2. 減っている
3. あまり減っていない 4. 減っていない

(8) 外出を控えていますか

1. はい 2. いいえ

【(8) で「1. はい」(外出を控えている) の方のみ】

①外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも)

1. 病気 2. 障がい (脳卒中の後遺症など)
3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配(失禁など)
5. 耳の障がい (聞こえの問題など) 6. 目の障がい
7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない 10. その他 ()

(9) 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも)

1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク
4. 自動車 (自分で運転) 5. 自動車 (人に乗せてもらう) 6. 電車
7. 路線バス 8. 病院や施設のバス 9. 車いす
10. 電動車いす (カート) 11. 歩行器・シルバーカー⁵
12. タクシー 13. その他 ()

問3 食べることについて

(1) 身長・体重

身長 | | cm

体重 | | kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

1. はい 2. いいえ

(3) お茶や汁物等でもむせることがありますか

1. はい 2. いいえ

(4) 口の渴きが気になりますか

1. はい 2. いいえ

(5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

1. はい 2. いいえ

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください

※ 成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です。
インプラントは、自分の歯・入れ歯の本数に含めません。]

1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし

① 噙み合わせは良いですか

1. はい 2. いいえ

② 【(6) で「1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】 毎日入れ歯の手入れをしていますか

1. はい 2. いいえ

(7) 6か月間で 2～3 kg 以上の体重減少がありましたか

1. はい 2. いいえ

(8) どなたかと食事をともにする機会はありますか

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度がある | 3. 月に何度がある |
| 4. 年に何度がある | 5. ほとんどない | |

問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(6) 自分で食事の用意をしていますか

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(7) 自分で請求書の支払いをしていますか

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(9) 年金などの書類 (役所や病院などに提出する書類) が書けますか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(10) 新聞を読んでいますか

1. はい

2. いいえ

(11) 本や雑誌を読んでいますか

1. はい

2. いいえ

(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか

1. はい

2. いいえ

(13) 友人の家を訪ねていますか

1. はい

2. いいえ

(14) 家族や友人の相談にのっていますか

1. はい

2. いいえ

(15) 病人を見舞うことができますか

1. はい

2. いいえ

(16)若い人に自分から話しかけることがありますか

1. はい

2. いいえ

(17) 趣味はありますか

1. 趣味あり



(

)

2. 思いつかない

(18) 生きがいはありますか

1. 生きがいあり



(

)

2. 思いつかない

問5

地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※① - ⑧それに回答してください

	週4回 以上	週2 ～3回	週1回	月1 ～3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアの グループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係の グループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 介護予防のための通い の場 ヘルス・ステーション、福祉 会、シニアクラブ、企業(フィ ットネスクラブや社会福祉法 人)が行うつどいの場、認知症 カフェ、ご近所カフェ、地域の サークル活動、地域活動サポー トセンターゆい など	1	2	3	4	5	6
⑥ シニアクラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いき
いきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加して
みたいと思いますか

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いき
いきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話
役）として参加してみたいと思いますか

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

問6 就労について

(1) 現在のあなたの就労状態はどれですか (いくつでも)

1. 職に就いたことがない 2. 引退した 3. 常勤 (フルタイム)
4. 非常勤 (パート・アルバイト等) 5. 自営業 6. 求職中
7. その他

【(1)において「2. 引退した」の方のみ】

① あなたはいつ引退しましたか

1. 昭和 年 2. 平成 年 3. 令和 年

問7 たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします

(1) あなたの心配事や愚痴 (ぐち) を聞いてくれる人 (いくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他 () 8. そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴 (ぐち) を聞いてあげる人 (いくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他 () 8. そのような人はいない

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (いくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他 () 8. そのような人はいない

（4）反対に、看病や世話をあげる人（いくつでも）

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(いくつでも)

- 1. 自治会・町内会・シニアクラブ
 - 2. 社会福祉協議会・民生委員
 - 3. ケアマネジャー
 - 4. 医師・歯科医師・看護師
 - 5. 地域包括支援センター・役所
 - 6. その他
 - 7. そのような人はいない

（6）友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある
4. 年に何度かある 5. ほとんどない

(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか
(同じ人には何度会っても1人と数えることとします)

1. 0人 (いない) 2. 1~2人 3. 3~5人
4. 6~9人 5. 10人以上

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (いくつでも)

1. 近所・同じ地域の人 2. 幼なじみ 3. 学生時代の友人

4. 仕事での同僚・元同僚 5. 趣味や関心が同じ友人

6. ボランティア等の活動での友人

7. その他 8. いない

問8**健康について****(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか**

1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

とても
不幸

とても
幸せ

0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることありましたか

1. はい 2. いいえ

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

1. はい 2. いいえ

(5) お酒は飲みますか

1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない
4. もともと飲まない

(6) タバコは吸っていますか

1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた
4. もともと吸っていない

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）

※治療中だけでなく、治療後の影響が今も残っている場合も含みます。

たとえば脳卒中後にしびれが今もある場合は「脳卒中」、心臓病後に息切れが今も続く場合は「心臓病」、骨折後に関節の動かしにくさが今も残る場合は「外傷」を選んでください。

1. ない

2. 高血圧

3. のうそっちゅう
脳卒中 (のうしゅっけつ・のうこうそくなど)
（脳出血・脳梗塞等）

4. 心臓病

5. 糖尿病

6. こうしけっしょう
高脂血症 (しちついじょう)
（脂質異常）

7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)

8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気

9. 腎臓・前立腺の病気

10. きんこっかく
筋骨格の病気 (こつそ
骨粗しょう症、関節症等)

11. 外傷 (転倒・骨折等)

12. がん (悪性新生物)

13. 血液・免疫の病気

14. うつ病

15. 認知症 (アルツハイマー病等)

16. パーキンソン病

17. 目の病気

18. 耳の病気

19. その他（ ）

問9

認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

1. はい

2. いいえ

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

1. はい

2. いいえ

以降、市独自調査項目

問10

日々の暮らしについて

(1) あなたは、お住まいの地域に支えあい、たすけあいがあると感じますか

1. とても感じる

2. 感じる

3. あまり感じない

4. 感じない

(2) 高齢者福祉の推進に住民同士の支えあい、たすけあいが必要だと思いますか

- | | |
|------------|---------|
| 1. とても思う | 2. 思う |
| 3. あまり思わない | 4. 思わない |

(3) あなたは、将来も、いまの地域（古賀市）に暮らし続けたいと思いますか

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. とても暮らし続けたい | 2. 墓らし続けたい |
| 3. あまり暮らし続けたくない | 4. 墓らしたくない |

問11 安心して暮らし続けることができるまちづくりについて

(1) 高齢者が住み慣れた場所で安心して暮らしていける地域づくりに向けて、特にどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか（3つまで選択可）

1. 高齢者の生きがいづくり・ボランティア活動などの様々な社会活動への参加の促進
2. 高齢者が生涯働き続けられる環境づくり（就労の場の確保、技術・技能・経験を活かした就労のあっせん、支援の仕組みづくり等）
3. 健康づくり、介護予防や認知症予防のための取組
4. 在宅での生活を続けられるような多様な福祉サービスや介護サービスの整備
5. 特別養護老人ホームなどの施設サービスの整備
6. 地域における見守り活動の促進
7. 成年後見制度（金銭管理等）や高齢者虐待防止など高齢者の権利擁護
8. 高齢者に対する犯罪（窃盗、詐欺等）や交通事故防止の対策
9. 高齢者の身体が不自由になっても生活できる住宅の整備
10. 高齢者の外出・利用に配慮した公共交通機関の整備や公共施設等（道路を含む）におけるバリアフリー化

問12 生活支援サービスについて

(1) 次のうち、あなたが困った時に助けてほしいと思うことは何ですか（いくつでも）

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 草むしり、花木の水やり | 2. ペットの世話 |
| 3. 病院や買い物時の送迎・付き添い | 4. 家具・電化製品等の簡単な移動・修繕 |
| 5. 話し相手 | 6. 料理の補助 |
| 7. 掃除・洗濯・ふとん干し | 8. お墓の手入れ |
| 9. ごみ出し | 10. 電球の交換 |

(2) 次のうち、あなたが困っている人を助けられると思うことは何ですか（いくつでも）

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 草むしり、花木の水やり | 2. ペットの世話 |
| 3. 病院や買い物時の送迎・付き添い | 4. 家具・電化製品等の簡単な移動・修繕 |
| 5. 話し相手 | 6. 料理の補助 |
| 7. 掃除・洗濯・ふとん干し | 8. お墓の手入れ |
| 9. ごみ出し | 10. 電球の交換 |

問13 在宅医療・介護について

(1) 将来、仮に介護が必要になったときに、どのように暮らしたいと思いますか

(1つを選択)

1. 家族のみに介護してもらいながら、自宅で暮らしたい
2. 家族の介護に加え、介護サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい
3. 介護サービスのみ利用しながら、自宅で暮らしたい
4. 家庭的な雰囲気の少人数で過ごす施設で暮らしたい
5. 入所者が多く、大規模な施設で暮らしたい
6. その他（ ）

**(2) 今後、仮に自宅で介護を受けることになった場合、誰に介護を頼みたいですか
(1つを選択)**

- | | | |
|----------------|-----------|----------|
| 1. 配偶者（夫・妻） | 2. 息子 | 3. 娘 |
| 4. 子の配偶者 | 5. 孫 | 6. 兄弟・姉妹 |
| 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他（ ） | |

(3) あなたは、ご自身が終末期に受けたい医療や受けたくない医療について、家族と話し合ったことがありますか

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 詳しく話し合っている | 2. 話し合ったことがある |
| 3. まったく話し合ったことがない | |

(4) あなたが最期を過ごしたいと思う場所はどこですか (1つを選択)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 病院などの医療施設 | 2. 自宅 |
| 3. 子どもの家 | 4. 兄弟姉妹などの親戚の家 |
| 5. 高齢者向けのケア付き住宅 | 6. 特別養護老人ホームなどの福祉施設 |
| 7. その他 | 8. わからない |

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

第10期

郵送

<質問項目について>

オプション項目の設問は、グレーの網掛け  をしています。

市独自項目は、問3(P11)以降です。

在宅介護実態調査

【調査票】

日頃から、古賀市行政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本市では令和8年度末を目指して「介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画」を策定予定です。この計画策定にあたり、皆様の心身の状態や生活状況、日々の生活課題をお聞かせいただくために、介護認定を受けている方のうち、在宅で生活している方を対象にアンケート調査を実施します。

皆様からのご回答は貴重な資料となりますので、ご多忙中とは存じますが、本調査にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

令和7年12月
古賀市健康介護課 介護保険係

調査票記入の際のご注意

- 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
- 調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、

1月9日(金) までに投函してください。

調査についてのお問合わせ先

古賀市 健康介護課 介護保険係

〒811-3116 福岡県古賀市庄205番地 (サンコスモ古賀)

☎ 092-942-1144

FAX 092-942-1154

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものとみなさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、「介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画」の策定のために行うものです。当該情報については、古賀市で適切に管理いたします。
- ただし、厚生労働省が管理する全国のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

記入日	令和 年 月 日												
※下記より各項目の該当するものに○、または記入をお願いします。													
お住まいの 小学校区 (調査対象者)	<table><tbody><tr><td>1. 青柳小学校区</td><td>・</td><td>2. 小野小学校区</td></tr><tr><td>3. 古賀東小学校区</td><td>・</td><td>4. 古賀西小学校区</td></tr><tr><td>5. 花鶴小学校区</td><td>・</td><td>6. 千鳥小学校区</td></tr><tr><td>7. 花見小学校区</td><td>・</td><td>8. 舞の里小学校区</td></tr></tbody></table> <p>※小学校区がわからない方は行政区名を下記に記入願います ()</p>	1. 青柳小学校区	・	2. 小野小学校区	3. 古賀東小学校区	・	4. 古賀西小学校区	5. 花鶴小学校区	・	6. 千鳥小学校区	7. 花見小学校区	・	8. 舞の里小学校区
1. 青柳小学校区	・	2. 小野小学校区											
3. 古賀東小学校区	・	4. 古賀西小学校区											
5. 花鶴小学校区	・	6. 千鳥小学校区											
7. 花見小学校区	・	8. 舞の里小学校区											

問1**調査対象者様ご本人について、お伺いします**

(1) 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか (複数回答可)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 調査対象者本人 | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. その他 |

(2) 世帯について、ご回答ください (1つを選択)

- | | |
|------------|-----------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 |
| 3. その他 () | |

(3) ご本人の性別について、ご回答ください (1つを選択)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

(4) ご本人の年齢について、ご回答ください (1つを選択)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 65歳未満 | 2. 65～69歳 | 3. 70～74歳 |
| 4. 75～79歳 | 5. 80～84歳 | 6. 85～89歳 |
| 7. 90歳以上 | | |

(5) ご本人の要介護度について、ご回答ください (1つを選択)

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1. 要支援1 | 2. 要支援2 | |
| 3. 要介護1 | 4. 要介護2 | 5. 要介護3 |
| 6. 要介護4 | 7. 要介護5 | 8. わからない |

(6) 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください

(1つを選択)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 入所・入居は検討していない | 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居の申し込みをしている | |

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、有料老人ホーム等、グループホーム、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

(7) ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください
(複数選択可)

1. 脳血管疾患（脳卒中） 2. 心疾患（心臓病） 3. 悪性新生物（がん）
 4. 呼吸器疾患 5. 腎疾患（透析） 6. 筋骨格系疾患（骨粗しょう症・脊柱管狭窄症等）
 7. 膠原病（関節リウマチ含む） 8. 変形性関節疾患 9. 認知症
 10. パーキンソン病 11. 難病（パーキンソン病を除く） 12. 糖尿病
 13. 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障がいを伴うもの） 14. その他
 15. なし 16. わからない

(8) 令和7年11月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか（1つを選択）

1. 利用した ⇒ 問1（9）へ 2. 利用していない ⇒ 問1（10）へ

(9) 問1（8）で「1.」と回答した方にお伺いします。以下の介護保険サービスについて、令和7年11月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない（0回、1. 利用していない）」を選択してください（それぞれ1つに○）

	1週間あたりの利用回数（それぞれ1つに○）					
	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上
（※回答例） ●●●サービス	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
A. 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
B. 訪問入浴介護	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
C. 訪問看護	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
D. 訪問リハビリテーション	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
E. 通所介護（デイサービス）	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
F. 通所リハビリテーション（デイケア）	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
G. 夜間対応型訪問介護 (※訪問のあった回数を回答)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上

	利用の有無 (1つに○)				
H. 定期巡回・隨時対応型訪問介護看護	1. 利用していない	2. 利用した			
I. 小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した			
J. 看護小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した			
	1か月あたりの利用日数 (1つに○)				
	利用していない	月1~7日程度	月8~14日程度	月15~21日程度	月22日以上
K. ショートステイ(短期入所)	0回	1~7日	8~14日	15~21日	22日以上
	1か月あたりの利用回数 (1つに○)				
	利用していない	月1回程度	月2回程度	月3回程度	月4回程度
L. 居宅療養管理指導 (医師や薬剤師等が利用者宅にて療養上の管理指導を実施するもの)	0回	1回	2回	3回	4回
(10) 間1(8)で「2.」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか (複数選択可)					
1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない					
2. 本人にサービス利用の希望がない	3. 家族が介護をするため必要ない				
4. 以前、利用していたサービスに不満があった		5. 利用料を支払うのが難しい			
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない					
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため					
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からず		9. その他			

[※ここから再び、全員の方にお伺いします]

(1 1) 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて
ご回答ください (複数選択可)

- | | | |
|------------------------|-------------|--------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物 (宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行 (通院・買い物など) |
| 7. 移送サービス (介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. その他 () | |
| 11. 利用していない | | |

※総合事業に基づく支援・サービスは「介護保険サービス」に含みます。

(1 2) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス (現在利用しているが、
さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む) について、ご回答ください
(複数選択可)

- | | | |
|------------------------|-------------|--------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物 (宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行 (通院・買い物など) |
| 7. 移送サービス (介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. その他 () | |
| 11. 特になし | | |

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

(1 3) ご本人 (調査対象者) は現在、訪問診療を利用していますか (1つを選択)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

**(14) ご家族やご親戚の方からの介護は、週にどのくらいありますか
(同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (1つを選択)**

1. ない
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない
3. 週に1~2日ある
4. 週に3~4日ある
5. ほぼ毎日ある

10ページの問4へ
進んでください

問2へ進んでください

- 問1の(14)で「2.」~「5.」を選択された場合は、「主な介護者」の方に問2・問3へのご回答をお願いします。
- 「主な介護者」の方が問2・問3へのご回答が難しい場合は、ご本人様(調査対象者様)がご回答願います。ご本人様のご回答が難しい場合は、問2・問3は無回答で、10ページの問4へ進んでください。

問2 主な介護者の方について、お伺いします

(1) ご家族やご親族の中で、ご本人(調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません) (複数選択可)

1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職を除く)
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職を除く)
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた親族はいない
6. わからない

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

(2) 主な介護者の方は、どなたですか (1つを選択)

1. 配偶者
2. 子
3. 子の配偶者
4. 孫
5. 兄弟・姉妹
6. その他

(3) 主な介護者の方の性別について、ご回答ください (1つを選択)

1. 男性

2. 女性

(4) 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください (1つを選択)

1. 20歳未満

2. 20代

3. 30代

4. 40代

5. 50代

6. 60代

7. 70代

8. 80歳以上

9. わからない

(5) 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください (複数選択可)

【身体介護】

1. 日中の排泄

2. 夜間の排泄

3. 食事の介助 (食べる時)

4. 入浴・洗身

5. 身だしなみ (洗顔・歯磨き等)

6. 衣服の着脱

7. 屋内の移乗・移動

8. 外出の付き添い・送迎等

9. 服薬

10. 認知症状への対応

11. 医療面での対応 (経管栄養・ストーマ等)

【生活援助】

12. 食事の準備 (調理等)

13. その他の家事 (掃除・洗濯・買い物 等)

14. 金銭管理や生活面で必要な諸手続き

【その他】

15. その他 ()

16. わからない

(6) 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）

（3つまで選択可）

【身体介護】

1. 日中の排泄
2. 夜間の排泄
3. 食事の介助（食べる時）
4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）
6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動
8. 外出の付き添い・送迎等
9. 服薬
10. 認知症状への対応
11. 医療面での対応（経管栄養・ストーマ等）

【生活援助】

12. 食事の準備（調理等）
13. その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）
14. 金銭管理や生活面で必要な諸手続き

【その他】

15. その他（ ）
16. 不安に感じていることは特にない
17. 主な介護者に確認しないと、わからない

(7) 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

1. フルタイムで働いている
 2. パートタイムで働いている
 3. 働いていない
 4. 主な介護者に確認しないと、わからない
- 8ページの問2（8）へ進んでください
- 9ページの問3へ進んでください

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

(8) 問2（7）で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出、早帰、中抜け等）」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

(9) 問2（7）で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか
(3つまで選択可)

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他
10. 特にない
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

(10) 問2(7)で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていきそうですか（1つを選択）

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

以降、市独自調査項目

問3 主な介護者の相談相手について、お伺いします

(1) 主な介護者の心配事を聞いてくれる人について、ご回答ください（複数選択可）

※主な介護者からの続柄としてお答えください。

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他（ ）
8. そのような人はいない

(2) 主な介護者が病気で数日間寝込んだときに看病をしてくれる人について、

ご回答ください（複数選択可）

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他（ ）
8. そのような人はいない

(3) 主な介護者が、家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手について、

ご回答ください（複数選択可）

1. 自治会・町内会・シニアクラブ
2. 社会福祉協議会・民生委員
3. ケアマネジャー
4. 医師・歯科医師・看護師
5. 地域包括支援センター・役所
6. その他
7. そのような人はいない

問4 調査対象者ご本人の在宅医療・介護の希望について、お伺いします

(1) 将来、どのように暮らしたいと思いますか（1つを選択）

1. 家族のみに介護してもらいながら、自宅で暮らしたい
2. 家族の介護に加え、介護サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい
3. 介護サービスのみ利用しながら、自宅で暮らしたい
4. 家庭的な雰囲気の少人数で過ごす施設で暮らしたい
5. 入所者が多く、大規模な施設で暮らしたい
6. その他（ ）

(2) 自宅で介護を受ける場合、誰に介護を頼みたいですか（1つを選択）

- | | | |
|----------------|-----------|----------|
| 1. 配偶者(夫・妻) | 2. 息子 | 3. 娘 |
| 4. 子の配偶者 | 5. 孫 | 6. 兄弟・姉妹 |
| 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他（ ） | |

(3) あなたは、ご自身が終末期に受けたい医療や受けたくない医療について、ご家族とどのくらい話し合ったことがありますか（1つを選択）

1. 詳しく話し合っている
2. 話し合ったことがある
3. まったく話し合ったことがない

(4) あなたが最期を過ごしたいと思う場所はどこですか（1つを選択）

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 病院などの医療施設 | 2. 自宅 |
| 3. 子どもの家 | 4. 兄弟姉妹などの親戚の家 |
| 5. 高齢者向けのケア付き住宅 | 6. 特別養護老人ホームなどの福祉施設 |
| 7. その他 | 8. わからない |

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。